

宇和島城薬草分布マップ

1年2組 石原 康貴 1年3組 清家 暖生
1年4組 平野 智哉 1年4組 山本 郁弥
指導者 上田 泰

1 課題設定の理由

宇和島城は、300年以上もの間火災や伐採から免れてきたため、巨木や珍しい植物が存在する。今では、災害時の避難場所になっているため、避難した時に薬草の知識や生息域を理解していれば、宇和島城周辺の多くの植物の中から薬草を見つけ出し、活用することができると考え調査を行うことにした。

2 仮説

宇和島城周辺には、多くの種類の植物が生息していることが知られている。その中には、多くの災害から免れてきたため、当時の怪我や病気に対処するために植えられていた有効な薬草や300年続く自然ならではの珍しい薬草が自生しているのではないかと仮説を立てた。

3 調査方法

(1) 準備

図書館で薬草の種類を調べる。(効果や使用法、その薬草の特徴も調べる。)

(2) 調査

宇和島城周辺に行き調べた薬草がどのような場所に生息しているのか調査し薬草を見つけた場合、写真を撮り種類および生息場所を記録する。

(3) マップの作成方法

宇和島城を上り立ち門周辺から公園①、公園②、公園から桑折氏武家門③、公園から天守閣④、天守閣から桑折氏武家長屋門⑤で分けてまとめる。

4 調査結果

作成したマップを図2に示す。また、増田和夫(2006)を参考に、宇和島城周辺における植物の分布(表1)と主要な植物の効能(表2)をまとめた。

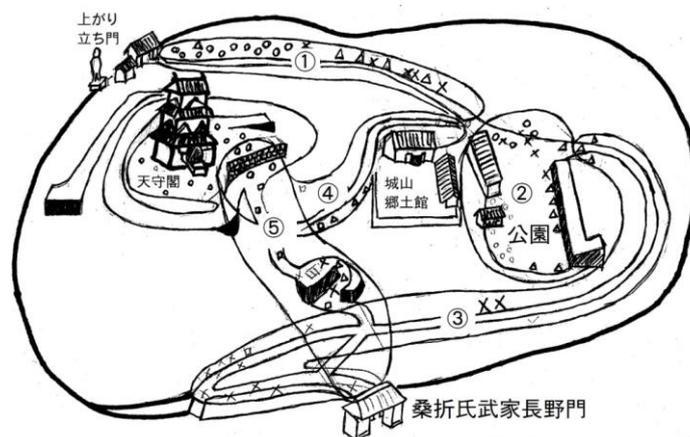


図1 作成したマップ

表1 宇和島城周辺における植物の分布

場所 \ 効果	○風邪系、下痢	×外傷	□皮膚関係	△その他
① 上り立ち門から公園	オオバコ、チャノキ	アオキ、ヤブツバキ		カキノキ クスノキ
② 公園	オオバコ、ダイダイ、ビワ	アオキ、ツワブキ、ヤブツバキ	ネズミモチ	クスノキ
③ 公園から桑折氏武家長屋門		アオキ、フユイチゴ ヤブツバキ、ユキノシタ	ネズミモチ	クスノキ
④ 公園から天守閣	オオバコ	アオキ、ヤブツバキ	ニワトコ ネズミモチ	クスノキ
⑤ 天守閣から桑折氏武家長屋門		アオキ、ヤブツバキ ユキノシタ	ネズミモチ	クスノキ

表2 主要な植物の効能

植物名	写真	植物名	写真
アオキ		オオバコ	
効果		効果	
軽いやけど、腫物		咳 下痢	
植物名	写真	植物名	写真
ネズミモチ		ヤブツバキ	
効果		効果	
かぶれ 湿疹		すり傷 切り傷	

5 まとめと今後の課題

今回は、300年続く森林にしかないような珍しい薬草を発見することができなかった。しかし、調査結果から、オオバコはほとんどの場所で確認できることがわかった。公園は人が多く集まりやすい場所である。そのため、多くの薬草を人口的に植え怪我したときに対処することが可能であるといえる。今回、作成したマップを発展させていくことが今後の課題である。

参考文献

- ・増田和夫監修 (2006) 『自分で採れる薬になる植物図鑑』 柏書房 p.88,98,104,115,136,157,158,177,180,181,208,212.